

一般社団法人 日本生態学会  
平成26年度第4回通常理事会議事録

1. 開催日時：平成26年12月27日 午後1時～午後5時20分
2. 開催場所：北海道大学東京オフィス
3. 出席者：
  - ・理事会構成員（20名・定足数10名以上）  
（理事）齊藤隆、可知直毅、陶山佳久、石田清、牧野能士、久米篤、古賀庸憲、半場祐子、中野伸一、吉田丈人、辻和希、竹中明夫、浅見崇比呂、黒川紘子、西廣淳  
（全理事20名中、15名参加）  
（欠席理事）角野康郎、矢原徹一、大手信人、宮下直、巖佐庸
  - ・監事：石田厚、小泉博
  - ・オブザーバー：岡部貴美子、石井励一郎、池田浩明
  - ・事務局：鈴木晶子、橋口陽子
4. 議事概要：

定足数10名を超える15名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第42条に従い齊藤隆会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第46条に則り、齊藤隆会長、石田厚監事とし、議事録作成者は陶山佳久理事が担当する。

**【報告事項】**

**報告事項**

1. 事務局報告（庶務・会計）
  - ・資料1に基づいて陶山専務理事より報告があった。収入のER超過ページ代は昨年掲載分の支払いが多かったためと補足説明があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
  - ・久米編集長より報告があった。2014年の投稿数は462件。IF=1.513(2013)であった。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
  - ・資料2に基づいて古賀編集長より報告があった。
  - ・新連載テーマを会員に募集中。新しい層が関心を持つようなテーマほしいと会長より意見があった。
4. 保全生態学研究編集委員会報告
  - ・資料3に基づいて西廣理事より報告があった。
  - ・投稿数が伸び悩んでおり投稿数増加を図る必要がある。
  - ・和文誌投稿システム(Editorial Manager)への移行は円滑に進んでいる。
  - ・CiNii終了にあたり今後の電子体公開と保全誌として今後の方向付けが必要。
5. 学術会議活動報告

- ・ 齊藤会長より報告があった。

## 6. 大会準備状況報告（鹿児島・仙台・東京）

### <2015年鹿児島大会>

- ・ 資料5に基づいて吉田理事より報告があった。
- ・ 公開講演会の出版事業について、冊子のPDF版は3年をめどに無料公開を原則として検討していく。公開講演会の出版については執行部が管理する

### <2016年仙台大会>

- ・ 資料5に基づいて陶山理事より報告があった。最終日夜に自由集會が入る予定。

### <2017年東京大会>

- ・ 別紙資料に基づいて小泉監事より報告があった。会場は早稲田大学使用で準備中。3/15~19 予定。

## 7. 各種委員会報告

### <キャリア支援>

- ・ 資料6に基づいて半場理事より報告があった。

### <将来計画>

- ・ 資料6に基づいて辻理事より報告があった。9月に提案したアジェンダは各委員会への投げかけができていないので、迅速に対応することになった。
- ・ 低額年会費の仙台大会対応については次回の理事会で議論することになった。

## 8. 学会賞選考委員会・諮問委員会報告

- ・ 資料7に基づいて中野理事より報告があった。選考委員会からの意見、推薦書類にweb of scienceのIDを明記することについては取得できない場合もあるため、他の情報（Google scholar等）も考慮し選考委員会に再度検討依頼することになった。Correspondence authorの明記についても委員会に差し戻し検討を依頼することになった。
- ・ 諮問委員会からの提案については次回以降に再検討することになった。

## 9. 自然史学会連合総会報告

- ・ 資料8の通り。

## 10. 英仏合同生態学会報告

- ・ 出席した齊藤会長より報告があった。イギリスとフランスがホストで11か国がMeetingに出席。貴重な情報交換ができた。

## 11. 京大大学生態学研究センターの現状と将来について報告

- ・ 中野理事より、京大生態研センターについて、生態学唯一共同利用拠点だが、経費削減されているとの報告があった。

- ・ 拠点として継続するために 8 月に認定される必要があり、地球研・JaLTER・JAMBIO とネットワーク的に連携を深めていく。

## 12. その他

- ・ 来年アメリカ生態学会 100 周年記念。齊藤・可知・陶山が Baltimore の大会に参加予定。

## 審議事項

### 第 1 号議案 理事・監事候補者の推薦について

- ・ 資料 9 の理事・監事候補が全会一致で承認された。

### 第 2 号議案 代議員の補充について

- ・ 資料 9 の代議員補充が全会一致で承認された

### 第 3 号議案 ER 関連(契約更新・投稿規定・ER 誌 30 周年・超過頁代廃止・data paper)

- ・ Springer との継続契約と投稿規定と超過ページ代廃止が全会一致で承認された。

### 第 4 号議案 編集委員の承認について (ER 編集委員・保全誌編集委員)

- ・ 資料 11 の ER 編集委員会および保全誌編集委員候補者が全会一致で承認された。

### 第 5 号議案 ESJ62 理事会主催フォーラムについて

- ・ 資料 12 の理事会主催フォーラムが全会一致で承認された。

### 第 6 号議案 大会運営体制・会員管理体制について

- ・ 資料 13 にて提案の作業部会設置が全会一致で承認された。

### 第 7 号議案 国立環境研究所との協定について

- ・ 資料 14 の協定が全会一致で承認された。

### 第 8 号議案 調達規程について

- ・ 資料 15 の調達規程 (案) について第 4 条三の総額を 200 万円に変更。全会一致で承認された。

### 第 9 号議案 平成 26 年第 3 回定時総会開催について

- ・ 1 月 5 日 10 時～9 日 17 時にメールで開催することが全会一致で承認された。

### 第 10 号議案 生態学会員データの使用について

- ・ 資料 7 のキャリア支援専門委員会からの提案はプライバシーポリシーの記載

に基づいており、全会一致で承認された。

第 11 号議案 日本学術振興会賞推薦について

- ・ 学会から賞への推薦を積極的に行うことが提案された。
- ・ 宮地賞受賞者を日本学術振興会賞へ、奨励賞受賞者を文部科学省若手賞に推薦する等の案が出されたが、次回の理事会にて再検討することになった。

第 12 号議案 倫理規定について

- ・ 提案への意見をもとに、第 2 版を 2 月の理事会で提案。時間をかけて作成することになった。

第 13 号議案 和文誌電子版の移行について

- ・ 資料 17 の J-STAGE Lite への移行提案が全会一致で承認された。

第 14 号議案 日本生態学会功労賞について

- ・ 功労賞受賞者については該当者なしで全会一致で承認された。

第 15 号議案 規則の改訂について

- ・ 資料 18 の提案が全会一致で承認された。

第 16 号議案 土壌肥料学会要望書について

- ・ 全会一致で承認された。

## その他

1. ORCID の学会としての対応について

- ・ 資料 19 に基づいて ORCID 紹介がされた。

閉会：以上の議事を終え、17時20分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

平成26年12月27日

会 長 : 齊藤 隆 ⑩

監 事 : 石田 厚 ⑩